

## 第 54 回日本生物物理学会年会

ライカマイクロシステムズ株式会社 ランチョンセミナー

**=Luncheon Seminar by Leica Microsystems K.K.=**

「共焦点レーザー顕微鏡を用いたイメージングの最前線」

日時：11月26日（土）11：45－12：35

会場：F 会場（つくば国際会議場 中会議室 406）

演者：加藤 薫 先生 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門

演者：上条 桂樹 先生 東北医科薬科大学医学部 解剖学教室

演者：岡部 弘基 先生 東京大学大学院薬学系研究科 生体分析化学教室

最先端のライフサイエンス研究において、より微細に、より正確に、細胞の動態や挙動を観察するためには、観察のためのツールである、“顕微鏡”システムの進化が重要な要素となります。近年、顕微鏡においても、共焦点レーザー顕微鏡を中心に次々と新しい技術開発が進み、“蛍光イメージング”の応用範囲が飛躍的に広がっています。ライカマイクロシステムズにおいても、ハイエンド共焦点レーザー顕微鏡 Leica TCS SP8 をベースとしたライカ独自技術に基づく製品を数多く開発しています。本セミナーでは、誘導放出抑制法（STED）による超解像イメージング、および、蛍光寿命イメージング顕微鏡法（FLIM）を題材に、学術的観点、実務的な観点よりご講演いただく予定です。

